

# 令和5年度『雄物川高校生議会だよりモニター会議』

## 実施報告書

この度、雄物川高校生議会モニター会議の実施概要について、別紙のとおりご報告いたします。

令和6年2月19日

### 広報広聴委員会広報分科会

分科会長 宮川 拓也

副分科会長 林 一輝

委員 加藤 勝義

委員 寿松木 孝

委員 加藤 雄太

横手市議会議長 小野 正伸 様

# 令和5年度『雄物川高校生議会だよりモニター会議』

## 実施報告書

- 開催日時 令和6年1月31日（水） 15:50～ 17:00
- 開催場所 県立雄物川高等学校
- 参加人数 12人（2年生：9人、1年生：3人）

### 《実施方法》

- ①議会だより（第75～78号）に対する意見交換
- ②若い世代に関心を持ってもらえる紙面についての意見交換
- ③その他以上の内容について意見交換を実施することを事前に伝え、また今年度に発行された議会だより4号（75～78号）を参加生徒に事前に読んでもらったうえで会議に臨んでもらった。

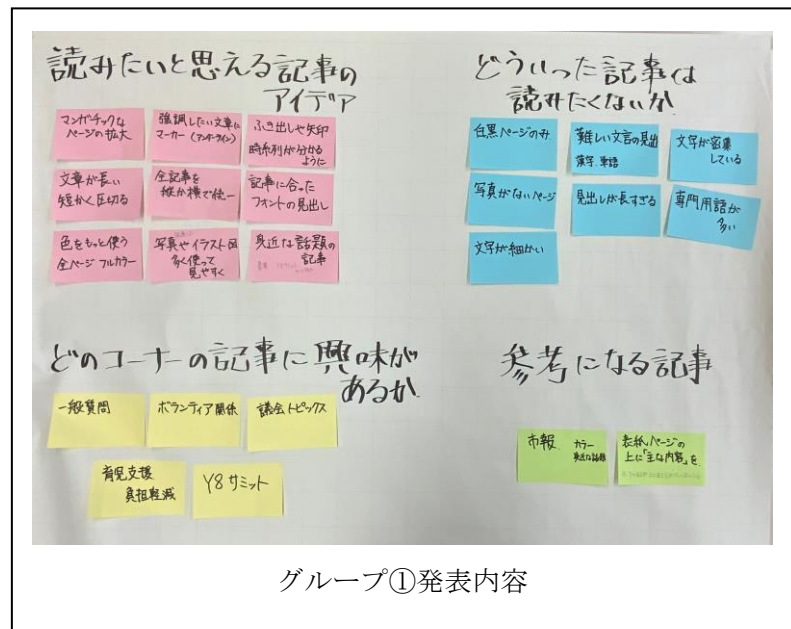
なお、意見交換は6人程度の3グループに分け、最後に各グループから発表を行った。

### 《意見交換内容》

#### グループ①

#### ①グループディスカッションの意見交換内容について

- ・高校生から事前に意見を頂き、それを基にしてスムーズに意見交換ができた。
- ・内容については、高校生の感じる新しい見方に感心した。
- ・それぞれの意見について、思ったことを発表していただく雰囲気作りが大切だ。
- ・内容については、議会には固いイメージがあるようで、行政情報の市報の内容と比べられる意見が多くあった。（フルカラー4など色使い、暮らしなどの身近な内容等）



- ・フルカラーにすることやポップなフォントを使うこと、写真やイラストなどを多用するなど、若年層でも見やすい視覚的な改善の希望が多かった。
- ・一般の人でも理解しやすいような文言を使うなど表現方法の改善点も挙げられた。

## ②意見交換会の進行（時間、実施内容）について

- ・文字が多い、文字が小さいなど、毎回同じような意見が出ていることから、今後の検討課題とすべき。
- ・進め方や時間は適切であった。
- ・事前に高校生が意見をまとめてきてくれたため、時間ロスもなく終始意見が出ていたのが良かった。
- ・時間も長すぎず、必要最低限の意見交換をする上で最適な時間であった。
- ・各グループの人数も意見の多様性、重複等を考慮すると適正な人数だった。

## ③その他の意見

- ・今回のような意見交換会も良いと思うが、毎回同じような意見に偏る傾向にあると思う。例えば、「今後の表紙をどうしようか?」「特集はどんな内容がいい?」「この写真とこの写真ならどっちがいい?」など、分科会で抱えている課題を高校生にぶつけてみるというようなやり方も面白いのではないかと感じた。

## グループ②

### ①グループディスカッションの意見交換内容について

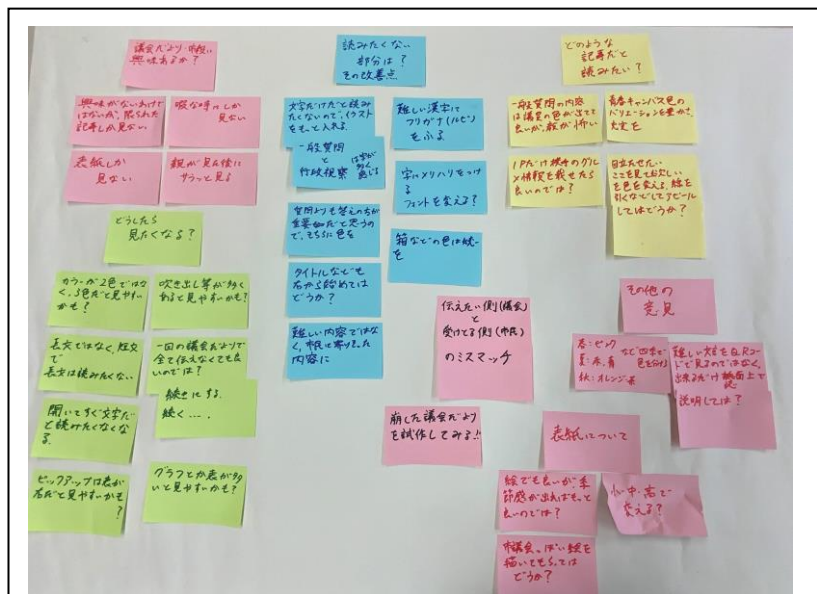
・いただいた意見を紙面に落とし込むには、現在の議会報のコンセプトからは簡単ではない事も多いが、少しでも多年代の皆さんに見てもらえる広報のために努力は重ねていくべきと感じた。

・高校生の率直な意見が聞けてとても有意義な時間となった。

・「質問よりも答えが重要だと思うので答えに色をつける」「グラフや表が多いと見やすい」「字のフォントを変えるなど文字にメリハリをつける」など、デザイン的な意見も多くいただいた。

・「1回の議会だよりで全て伝えるのではなく、続きにすることで次号も読んでもらえるのでは」など、委員ではなかなか思いつかないような意見もあった。

・すぐには反映出来ないこともあるが、委員で検討して次号から反映出来ることもあると思うので、市民のみなさまが「少しでも読みやすい」「読みたくなる」紙面作りのために積極的に取り入れていきたい。



グループ②発表内容

## ②意見交換会の進行（時間、実施内容）について

- ・あと30分くらい時間があればもう議論を少し深掘りできたと思う。
- ・内容的にはシンプルで分かりやすく良かった。
- ・全部の項目について話ができて、時間的にすごくちょうど良かった。
- ・内容についても今後の紙面作りの参考になるような内容が多かったのが良かったと思う。

## ③その他の意見

- ・普段であれば高校生が手に取ることのない議会報の隅々まで目を通し、さまざまな意見をいただけたことにまずは感謝をしながら、もっと広い世代の皆さんの意見も直接お聞きしてみたいとも感じた。
- ・その上で、議会として、誰に何を伝えたいのか…そのターゲットングを今一度確認する必要もあると思う。
- ・今後も年に1回でもこういった場を設け、積極的な意見交換が出来れば良いと思う。

## グループ③

### ①グループディスカッションの意見交換内容について

・イラスト、写真がある記事、また自分と同じ世代について扱われている記事は読みたくなる。

・文字が多く、使われる言葉や内容自体が難しいものは読みたくなる。  
・自分が生まれ育った地域が取り上げられる話題や、現在や未来だけではなく、自分が経験してきた事柄にまつわる話題、コーナーが良いと感じる。

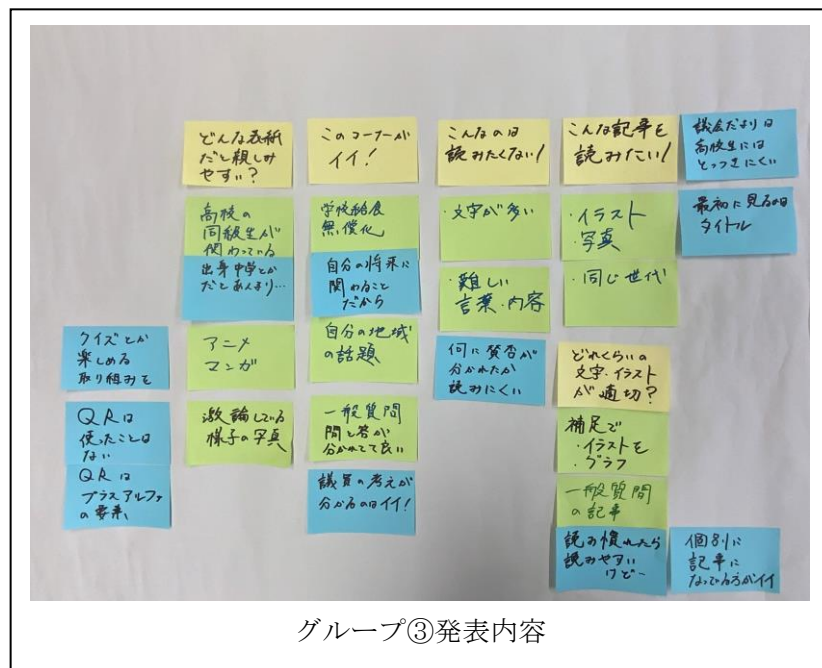
・議会に関するクイズ等があると理解が深まるかも。

・QRコードは主軸ではなく、あくまでプラスアルファの要素。

・表紙に中学生の作品が掲載されていても特に関心が高まるわけではない。

（例え出身校であっても）

・アニメやマンガ調の表紙や、自分の同級生が取り上げられている表紙であれば関心を持つかも。激論を交わす議会の場面の写真なども関心を持つ。



グループ③発表内容

## ②意見交換会の進行（時間、実施内容）について

- ・前回開催した際と同じ班だった生徒がまた同じ班として参加してくれたため、前回よりスムーズに進められた。

- ・最初に全テーマについて主に感じたことを先に出ししてもらい、残った時間で深掘りしていくスタイルにしたことがとても良かった。
- ・途中から意見を出してもらおう生徒がほぼ固定化されてしまっていたため、前回同様反省点として残ってしまったが、あの限られた開催時間の中でどの様にすればよかったか、具体的な方策を思いつけずにいる。

### ③その他の意見

- ・高校生という一番若いかもしれない年代のモニターからの意見を聞くことができるのは、やはり大変貴重な時間であると感じた。
- ・引き続きテーマを設けた上で、意見を聞く機会を確保できればと考える。

以上、報告いたします。